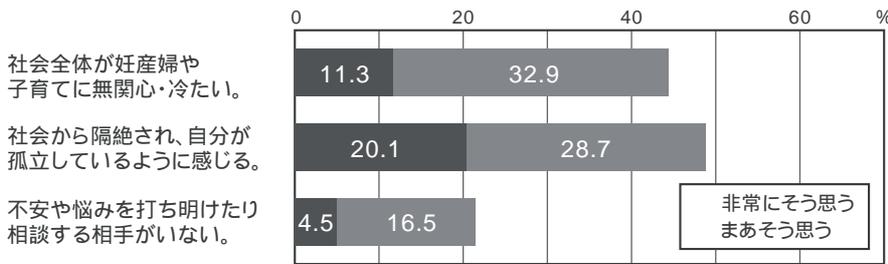


# マタニティマークで 妊産婦に優しい環境づくり



妊娠中または3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)



多くの母親が孤立感の中で子育てを行っている

資料:(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1,069人)

## 思いやりのある気遣いを

日本では急速に少子化が進み、多くの母親は子育て期間中に孤独感や負担感を訴えています。(左記グラフ参照)子育てに優しい社会環境を築くために、皆さん一人ひとりの理解と協力が必要です。

妊娠中、特に初期は外見から妊婦であることが判断出来ないことや、つらい症状が出る場合があります。皆さんの周りでマタニティマークを身に付けている方を見かけたら、思いやりのある気遣いをしてください。

### マタニティマークを見かけたら

- ・ 電車、バスなどでは、優先して席を譲る。
- ・ 電車、バスなどの乗降時にベビーカーを運んだり、畳むなどの協力をする。
- ・ 近くでの喫煙は、控える。
- ・ 「お手伝いしましょうか」と一言声を掛ける。

マタニティマークは、厚生労働省の妊産婦に優しい環境づくりの一環として「健やか親子21」推進検討会で選ばれた最優秀作品です。マークは、厚生労働省のホームページから自由にダウンロードできます。

ホームページアドレス

<http://www.mhlw.go.jp/houdou>

/2006/03/h0301\_1.html

問い合わせ先 環境衛生課

☎(48)1111

(内311・312)